

目 次

刊行の辞
まえがき

第 I 部 新自由主義的グローバル化

第 1 章	新自由主義国家の系譜	—————	中谷義和	3
1	はじめに——国家の編成原理			3
2	リベラリズムの系譜			6
3	ネオリベラリズム			13
4	レジーム転換			18
5	結 び			22
第 2 章	国家の役割変化：新自由主義的グローバル化の推進 と抵抗	—————	ボブ・ジェソップ（中谷義和訳）	26
1	新自由主義とその多様性			26
2	ネオリベラリズムの経済的意味			30
3	他の資本諸分派を凌ぐ金融資本の優位			31
4	金融支配型蓄積の制約			36
5	新自由主義の推進と抵抗に占める国家の役割			37
6	結 論			40

第3章 新自由主義的転換と社会的危機：経済の自由化、
通貨危機、そして二極化を越えて
————— 申 光荣 (呉 仁济訳) 42

- 1 はじめに 42
- 2 準備不足の世界化 43
- 3 通貨危機と社会危機 47
- 4 代案の模索 54
- 5 結 論 57

第4章 「『中国の道』学派」の台頭と西側イデオロギー言説
への挑戦————— 莊 礼偉 (菊地俊介訳) 63

- 1 「『中国の道』学派」の勃興 66
- 2 「『中国の道』学派」と国際イデオロギー言説権の争奪 76
- 3 国際政治における「中国モデル」問題 82
- 4 結語——「中国モデル」普遍化の道? 86

第5章 流動化するグローバル・サウスと新自由主義
————— 松下 冽 91

- 1 はじめに 91
- 2 新自由主義の問題群 92
- 3 地域比較考察の諸要素および論点 94
- 4 ラテンアメリカと新自由主義 101
- 5 中国と新自由主義 104
- 6 グローバル化とグローバル・サウス 108
- 7 終わりに 112

第Ⅱ部 社会経済構造の変容

第6章 改革開放以後の中国社会階層の変化と

その問題点 ————— 鄧 仕超（菊地俊介訳） 121

- 1 改革開放前の中国社会階級と階層構造の概要 122
- 2 改革開放以後の中国社会階層の変化 125
- 3 中国社会階層の変化に内在する問題 132

第7章 韓国における労働組合と市民社会組織との

運動間提携の変化 ————— 李 秉勲（中谷義和訳） 139

- 1 序 論 139
- 2 労働組合と市民社会組織との
運動間連携に関する文献の検討 140
- 3 労働者活動主義と市民社会運動との抵抗連携：
開発国家期（～1987年） 143
- 4 労働組合と市民社会組織との連携の多岐化：
民主化後の時期（1988-97年） 146
- 5 労働組合と市民社会組織の連携の空洞化：
新自由主義的再編期（1998年～） 149
- 6 結論——要約と判断 153

第8章 新自由主義時代における韓国の「性売買特別法」： 争点とフェミニスト的代案

————— 李 娜榮（呉 仁済訳） 158

- 1 序論、そして問題提起 158
- 2 性売買特別法制定の意義 159

- 3 性売買特別法の限界および効果 161
- 4 近年のフェミニストたちの論争と代案としての「ノルディック」モデル 165
- 5 新自由主義時代におけるジェンダー暴力の観点からの性売買の再考 169
- 6 おわりに 173

第9章 社会的包摂に向けた日本の政策課題：

生活困窮者自立支援制度を中心に —— 櫻井純理 177

- 1 本章のテーマと背景 177
- 2 大阪府・地域就労支援事業における「自治体間格差」 181
- 3 生活困窮者自立支援制度の導入と経過 184
- 4 政策の揺れをもたらす「小さな政府」化の圧力 192

第10章 超高齢社会に直面する日本と

ボランティア・セクター —— 小澤 亘 197

- 1 はじめに 197
- 2 日本におけるボランティア・セクターと地域ケア制度 200
- 3 高齢者見守りに向けた地域ボランティアの可能性と直面する課題 203
- 4 結びに代えて——課題の乗り越えに向けて 215

第Ⅲ部 リージョナル・ガバナンスと地域統合

- 第11章 ASEAN 経済共同体 (AEC) とリージョナル・バリュー・チェーン (RVC) ————— 西口清勝 223**
- 1 問題の所在—AEC による ASEAN 経済統合の現状 223
 - 2 GVC の基礎的概念と理論 226
 - 3 AEC と RVC の関係 235
 - 4 展望—今後 ASEAN が採用すべき政策 244
- 第12章 アメリカの東アジア回帰：成果、原因、影響
————— 張 振江 (菊地俊介訳) 252**
- 1 政策とその成果 252
 - 2 原因の分析 256
 - 3 今後起こりうる調整 260
 - 4 影 響 262
- 第13章 アメリカと東アジア経済の一体化：
国際政治経済学の視角 — 陳 奕平 (菊地俊介訳) 267**
- 1 東アジア経済の一体化のプロセス 267
 - 2 東アジア一体化の進展過程におけるアメリカの重要性 269
 - 3 東アジア一体化に対するアメリカの態度の変遷 271
 - 4 中国とその他の東アジア諸国の政策選択 279

第14章 グローバル・ヘゲモニー言説の生産：知識ブランド
としての“競争力”と東アジアへの（再）脈絡化
———— ナイ・リン・サム（中谷義和訳） 286

- 1 序 文 286
- 2 グローバル・ヘゲモニー言説の生産
——知識ブランドとしての“競争力” 287
- 3 知識ブランドの展開と東アジアへの再脈絡化
——レポート、インデックス、クラスター、チェーン 293
- 4 結 論 301

あとがき